

都市再生整備計画 事後評価シート
刈谷駅周辺地区

令和8年3月

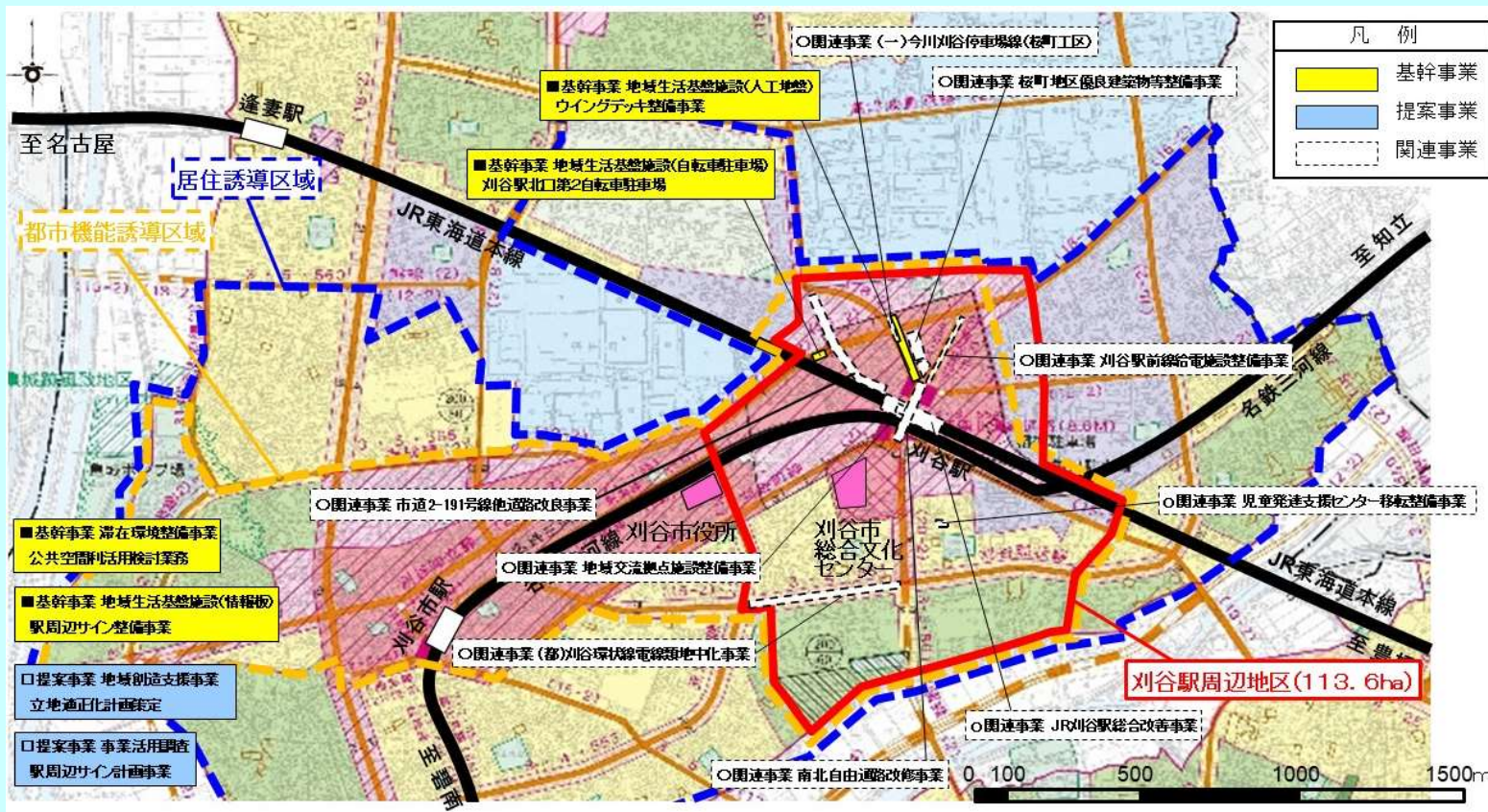
愛知県刈谷市

4) 定性的な効果 発現状況	—			
		実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	官民連携による 取組	駅周辺の公共用地でのイベント実施状況を確認する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	○ 今後は、まちづくり団体や商店街等の様々な人が、まちの将来像を議論し、実現に向けた取組について協議する場であるエリアプラットフォームを構築することで、まちづくり団体を中心とした活動に移行していく。
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	

様式2-2 地区の概要

刈谷駅周辺地区(愛知県刈谷市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標 ・回遊性を高める歩行空間の形成とにぎわいの創出 ・公共空間の滞在環境向上とにぎわいの創出 ・誰もが安心・安全で快適に暮らせるまちなか居住の推進	駅前路線価	単位: 千円/㎡	190 R2 225 R7	282 R7
	地域による新規イベントの実施回数	単位: 回/年	0 R2 4 R7	8 R7
	中心市街地における人口	単位: 人	6,209 R2 6,362 R7	6,786 R7
	子どもを生み育てやすいと感じる市民の割合	単位: %	86.3 R5 87.7 R7	85.1 R7



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイングデッキ整備事業や優良建築物等整備事業は事業中ではあるものの、公共空間利活用検討業務により駅周辺のにぎわいの創出を図ることができた。 ・公共空間を活用したイベント実施方法の検討(公共空間利活用検討業務)やまちづくり団体の都市再生推進法人への指定、イベント時に必要となる電源などのインフラの整備(刈谷駅前線給電施設整備)によって、にぎわい創出に向けた継続的なイベント等が実施される仕組みづくりに進展があった。 ・駅周辺の基盤整備が進んだことで、その波及効果により、民間の住宅開発が促進され、まちなか居住の推進が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体や商店街等の様々な人が、まちの将来像を議論し、実現に向けた取組について協議する場であるエリアプラットフォームを構築することで、継続的にイベント等のまちづくり活動を実施するための仕組みづくりの推進を図る。 ・ウイングデッキ整備事業の完了による安心・安全で快適な歩行空間の形成を目指す。また、更なる回遊性の向上のための基盤整備の検討を行う。 ・事後評価を踏まえ、刈谷駅・刈谷市駅周辺における居住及び都市機能の誘導を図る。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		指標4:-(設定なし)	指標4:「子どもを生き育てやすいと感じる市民の割合」の追加	児童発達支援センター移転整備事業の関連事業への位置づけに伴い、当該事業を含めた複数事業の評価を行うための指標が必要だったため。
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域生活基盤 施設	ウイングデッキ整備事業	1,983.4	618㎡	943.6	627㎡	事業費の変更(事業の遅れによる 交付期間内事業費の変更)	影響なし	●(一部)	
	刈谷駅北口第2自転車駐車場	35.0	約500台	35.4	約500台	事業費の変更	影響なし	●	
	駅周辺サイン整備事業	14.6	240ha	12.6	27.7ha	規模の変更(駅周辺サイン計画事業策 定に伴い事業範囲が確定したため)及 び事業費の変更	影響なし		●
滞在環境整備 事業	公共空間活用検討業務	12.6	—	11.1	—	事業費の変更	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
事業活用調査	立地適正化計画策定	—	—	10.0	—	事業の追加	影響なし	●	
	駅周辺サイン計画事業	4.8	約240ha	4.4	約240ha	事業費の変更	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
優良建築物等整備事業		桜町地区優良建築物等整備事業	—	5,922	令和4年度～令和8年度	令和5年度～令和9年度	事業中		
JR刈谷駅総合改善事業			8,242	9,174	令和2年度～令和8年度	令和2年度～令和11年度	事業中		
道路		(一)今川刈谷停車場線(桜町工区)	514	514	令和2年度～令和4年度	令和2年度～令和4年度	すでに事業が完了し、安全な歩 行空間の確保がされている。		
		(都)刈谷環状線電線類地中化事業	222	222	令和3年度～令和5年度	令和3年度～令和5年度	すでに事業が完了し、安全な歩 行空間の確保がされている。		
		市道2-191号線他道路改良事業	120	120	令和5年度～令和7年度	令和5年度～令和7年度	事業中		
南北連絡通路改修事業			140	140	令和4年度～令和8年度	令和4年度～令和8年度	事業中		
地域交流拠点施設整備事業			20	20	令和5年度	令和7年度	事業中		
刈谷駅前線給電施設整備事業			—	—	令和6年度	令和6年度	すでに事業が完了し、公共空間 を活用したイベントに活用されて いる。		
児童発達支援センター移転整備事業			—	592	—	令和7年度～令和8年度	事業中	令和5年に計画変更して 追加	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み	達成度	事後評価	あり	なし	
指標1	駅前路線価	千円/㎡	—	—	190	R2	225	R7	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み ●	282	事後評価	○			
指標2	地域による新規イベントの実施回数	回/年	—	—	0	R2	4	R7	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み ●	8	事後評価	○			
指標3	中心市街地における人口	人	—	—	6,209	R2	6,362	R7	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み ●	6,786	事後評価	○			
指標4	子どもを生き育てやすいと感じる市民の割合	%	79.1	H28	86.3	R5	87.7	R7	モニタリング			モニタリング				●
									事後評価	確定 見込み ●	85.1	事後評価	△			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	ウイングデッキ整備事業や優良建築物等整備事業は事業中ではあるものの、その事業進捗による波及効果や刈谷駅周辺での基盤整備が要因となり、目標を達成できた。	
指標2	公共空間を活用したイベント実施方法の検討(公共空間利活用検討業務)やまちづくり団体の都市再生推進法人への指定、イベント時に必要となる電源などのインフラの整備(刈谷駅前線給電施設整備)が要因となり、目標を達成できた。	
指標3	刈谷駅周辺における都市基盤整備の進展による波及効果によって、民間事業による住宅開発が進んだことが要因となり、目標を達成できた。	
指標4	目標値を達成していないが、産後ケア事業の拡大や予防接種の助成などの子育て支援サービスの拡充により、近年の数値から改善傾向が認められ、高い水準を維持できていることは評価できる。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1	—	—	—	—	—	—	モニタリング	—	—
							事後評価		
その他の 数値指標2	—	—	—	—	—	—	モニタリング	—	—
							事後評価		
その他の 数値指標3	—	—	—	—	—	—	モニタリング	—	—
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
駅周辺の公共用地でのイベント実施状況を確認する。	予定どおり実施した	【実施頻度】 115日/年(令和3年度～令和6年度) ※令和7年度については40日(令和7年7月1日時点) 【実施時期】 令和3年度～令和7年度(令和7年7月1日時点まで) 【実施結果】 公共空間でのイベントを開催することで、駅周辺のにぎわいを創出することができた。	今後は、まちづくり団体や商店街等の様々な人が、まちの将来像を議論し、実現に向けた取組について協議する場であるエリアプラットフォームを構築することで、まちづくり団体を中心とした活動に移行していく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価 庁内関係各課ヒアリング	庁内関係各課職員(道路建設課、都市交通課、市街地整備課、子育て支援課)	令和7年9月25日、26日	まちづくり推進課(都市再生整備計画所管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3						
指標名		駅前路線価		地域による新規イベントの実施回数		中心市街地における人口						
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見			
基幹事業	ウイングデッキ整備事業	○	ウイングデッキ整備事業や優良建築物等整備事業は事業中ではあるものの、その事業進捗による波及効果や刈谷駅周辺での基盤整備が駅前路線価の上昇に寄与した。	—	公共空間を活用したイベント実施方法の検討(公共空間利活用検討業務)やまちづくり団体の都市再生推進法人への指定、イベント時に必要となる電源などのインフラの整備(刈谷駅前線給電施設整備)によって、継続的なイベント実施の仕組みづくりが進み、新規イベントの実施回数が増加した。	—	刈谷駅周辺における基盤整備の進展による波及効果によって、民間事業による住宅開発が進み、中心市街地における人口の増加に寄与した。	—				
	刈谷駅北口第2自転車駐車場	○		—		—						
	駅周辺サイン整備事業	○		○		—						
	公共空間利活用検討業務	○		◎		○						
提案事業	立地適正化計画策定	○		—		—		—		○	—	—
	駅周辺サイン計画事業	○		—		○		—		—	—	—
関連事業	桜町地区優良建築物等整備事業	○		—		—		—		○	—	—
	JR刈谷駅総合改善事業	—		—		—		—		○	—	—
	(一)今川刈谷停車場線(桜町工区)	○		—		—		—		—	—	—
	(都)刈谷環状線電線類地中化事業	—		—		—		—		○	—	—
	市道2-191号線他道路改良事業	—		—		—		—		○	—	—
	南北連絡通路改修事業	—		—		—		—		—	—	—
	地域交流拠点施設整備事業	—		—		△		—		—	—	—
刈谷駅前線給電施設整備事業	○	—	◎	—	—	—	—					
児童発達支援センター移転整備事業	—	—	—	—	—	—	—					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	刈谷駅周辺の基盤整備により、更なるまちの価値を上げ、にぎわいのある都市の形成を図る。	まちづくり団体や商店街等の様々な人が、まちの将来像を議論し、実現に向けた取組について協議する場であるエリアプラットフォームを構築することで、継続的にイベントを実施するための仕組みづくりの推進を図る。	刈谷駅周辺における基盤整備によりまちなが居住を推進し、人口の増加を図る。
-------	--	---	--------------------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標4											
指標名		子どもを生み育てやすいと感じる市民の割合											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	ウイングデッキ整備事業	△	目標値を達成していないが、産後ケア事業の拡大や予防接種の助成などの子育て支援サービスの拡充により、近年の数値から改善傾向が認められ、高い水準を維持できていることは評価できる。	Ⅲ									
	刈谷駅北口第2自転車駐車場	△											
	駅周辺サイン整備事業	—											
公共空間利活用検討業務	—												
提案事業	立地適正化計画策定	△											
	駅周辺サイン計画事業	—											
関連事業	桜町地区優良建築物等整備事業	—											
	JR刈谷駅総合改善事業	△											
	(一)今川刈谷停車場線(桜町工区)	△											
	(都)刈谷環状線電線類地中化事業	△											
	市道2-191号線他道路改良事業	△											
	南北連絡通路改修事業	—											
	地域交流拠点施設整備事業	—											
刈谷駅前線給電施設整備事業	—												
	児童発達支援センター移転整備事業	×											

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	児童発達支援センターの完成を目指すとともに子育て支援サービスの利用促進等、子どもを生み育てやすい環境の整備を進める。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価 庁内関係各課ヒアリング	庁内関係各課職員(道路建設課、都市交通課、市街地整備課、子育て支援課)	令和7年9月25日、26日	まちづくり推進課(都市再生整備計画所管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
回遊性を高める歩行空間の形成とにぎわいの創出	ウイングデッキ整備事業や優良建築物等整備事業は事業中ではあるものの、公共空間利活用検討業務により駅周辺のにぎわいの創出を図ることができた。	ウイングデッキ整備事業やJR刈谷駅総合改善事業等の完成による安心・安全で快適な歩行空間の形成が必要である。	刈谷駅周辺では、ウイングデッキ整備事業などが事業中ではあるものの、各事業の効果により、まちづくりの目標は概ね達成された。 引き続き、刈谷駅周辺における継続事業の完了を目指すとともに、今後は、刈谷駅周辺と同様に立地適正化計画における都市機能を誘導する区域内にある刈谷市駅周辺においても、基盤整備などを進め魅力的で賑わいあふれる市街地の形成を目指す。
公共空間の滞在環境向上とにぎわいの創出	公共空間を活用したイベント実施方法の検討(公共空間利活用検討業務)やまちづくり団体の都市再生推進法人への指定、イベント時に必要となる電源などのインフラの整備(刈谷駅前線給電施設整備)によって、にぎわい創出に向けた継続的なイベント等が実施される仕組みづくりに進展があった。	なし	
誰もが安心・安全で快適に暮らせる まちなか居住の推進	駅周辺の基盤整備が進んだことで、その波及効果により、民間の住宅開発が促進され、まちなか居住の推進が図られた。	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	公共空間を活用したにぎわいの創出	まちづくり団体や商店街等の様々な人が、まちの将来像を議論し、実現に向けた取組について協議する場であるエリアプラットフォームを構築することで、継続的にイベント等のまちづくり活動を実施するための仕組みづくりの推進を図る。	

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	回遊性を高める歩行空間の形成	ウイングデッキ整備事業の完了による安心・安全で快適な歩行空間の形成を目指す。また、更なる回遊性の向上のための基盤整備の検討を行う。	ウイングデッキ整備事業
	刈谷駅・刈谷市駅周辺における居住及び都市機能の誘導	事後評価を踏まえ、刈谷駅・刈谷市駅周辺における居住及び都市機能の誘導を図る。	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	駅前路線価	千円/㎡	190	R2	225	R7	確定 見込み ●	282	○	あり なし	→	令和8年度	路線価図により確定値を求める。	
指標2	地域による新規イベントの実施回数	回/年	0	R2	4	R7	確定 見込み ●	8	○	あり なし	→	令和8年度	イベント等の利用申請等により確定値を求める。	
指標3	中心市街地における人口	人	6,209	R2	6,362	R7	確定 見込み ●	6,786	○	あり なし	→	令和8年度	住民基本台帳の丁町別人口をもとに確定値を求める。	
指標4	子どもを生き育てやすいと感じる市民の割合	%	86.3	R5	87.7	R7	確定 見込み ●	85.1	△	あり なし ●	→	令和8年度	令和8年度に実施される市民意識調査の結果より確定値を求める。	調査の結果が公表され次第実施
その他の数値指標1				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標2				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標3				H			確定 見込み				→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	

添付様式6—参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定。
刈谷駅及び刈谷市駅周辺におけるまちづくりを推進するため、次期都市再生整備計画(刈谷駅・刈谷市駅周辺地区)を策定し、にぎわいや活気にあふれる暮らし続けたいとする都市づくりを目指す。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和7年10月1日～15日	令和7年10月1日～15日	担当課への郵送、持参、ファクス、Eメールで意見を受付	まちづくり推進課(都市再生整備計画所管課)
広報掲載・回覧・個別配布	市民だよりにまちづくり推進課窓口および市のホームページで原案を公表する旨を掲載	令和7年10月号(10月1日発刊)	令和7年10月1日～15日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	まちづくり推進課の窓口で閲覧				

住民の意見	意見なし
-------	------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	・瀬口哲夫 名古屋市立大学名誉教授 (刈谷市都市計画審議会委員長 併任) ・加藤英樹 刈谷商工会議所会頭 (刈谷市都市計画審議会委員 併任)	令和7年11月7日	まちづくり推進課	刈谷市都市再生整備計画事後評価委員会設置要綱	特になし
その他の委員	・近藤香代子 刈谷市女性の会連絡協議会本部副会長 (刈谷市都市計画審議会委員 併任)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	・路線価は周辺経済など多くの要素が影響するので、路線価の評価項目と今回の事業がどう関係しているか確認した方がよいとの意見があった。
	実施過程の評価	・「エリアプラットフォーム」がどのような組織かが分かるように記載した方がよいという意見があった。
	効果発現要因の整理	・貢献度の評価はおおむね妥当であることが確認された。ただし、効果発現要因となる事業について、具体的な内容を分かりやすく記載した方がよいという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・公表は妥当であると認められた。ただし、公表に対する意見が少ないのが気になり、市民の関与が進むよう工夫が必要であるという意見があった。
	その他	・現在の資料ではどこが完成でどこが事業中なのかわかりにくいので、記載を整理する必要があるという意見があった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・まちづくり団体等がにぎわい創出のためのイベント等を継続的に実施していくためには、市のサポートがないと難しいという意見があった。 ・ウイングデッキ整備事業は「安心・安全で快適な歩行空間の形成」という面ではよいが、賑わい創出のためには地上の商店街に誘導する工夫(回遊性)が必要という意見があった。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・障がい者の視点でまちの安心・安全で快適な歩行空間かどうかをチェックできる仕組みがあると良いという意見があった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・妥当であると認められた。
その他	・都市再生法人の位置づけを明確にし、運営上の課題等も整理する必要があるという意見があった。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。